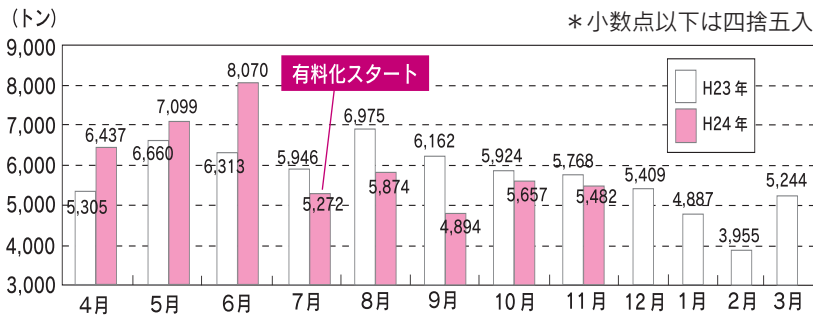


家庭系ごみの排出量の推移



7月～11月のごみ排出量累計

H23年 30,775トン

H24年 27,178トン → 前年比 **12%の削減**

家庭系ごみ有料化以降、排出量が減少しました

7月に家庭系ごみの有料化が始まってから5か月が経過しました。今年4月から6月にかけては、「爆弾低気圧」の被害によって出たごみや、有料化になる直前の駆け込み排出の影響で、各月とも前年よりごみの排出量が多くなりました。有料化以降はみなさんのご協力もあり、前年と比べ5か月連続でごみの排出量が減少しています。

人にも 地球にも やさしいあきたをめざして

「冬場は凍結します。生ごみの水切りが肝心ですね」



コンポスター

**実践して実感！
家庭内の
ごみ減量**

「ごみ出しが週2回から1回に減りました」

“ごみ減量モニター”を体験した こんのほる 金登さん・てる子さん(泉)

市では、「生ごみ減量モニター(※)」に登録したみなさんから意見を伺い、ホームページなどで紹介しています。元々ごみ減量に関心があった金さんが、モニターに登録したのは1年半前。同時にコンポスター2基を自宅の庭に置いてその効果をチェックすることに。「二人暮らしということもあり生ごみの量も少なく、堆肥にするには結構手間と時間がかかるんです」と金さん。それでも発酵を促す自家製の「EIMぼかし」を使うなど、工夫して取り組んでいます。

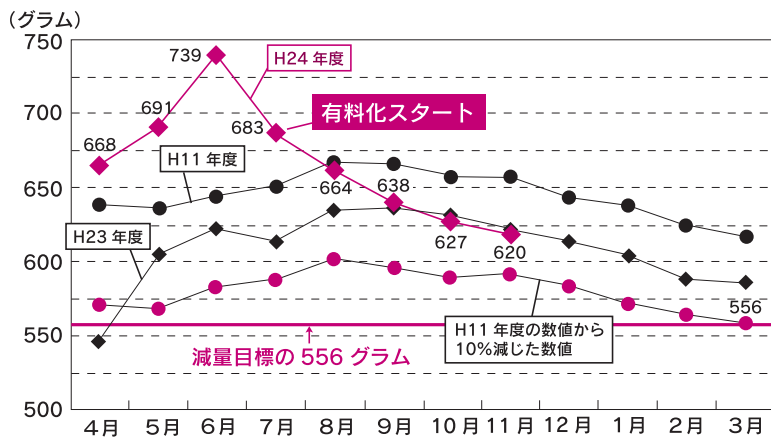
また、コンポスターを使い始めたことで、意識して生ごみを分別するようになり、有料化前からすでに、ごみ出し回数が週2回から1回へ。さらに、「もっとごみを減量して、ごみ出しを減らしたい」とこれからの目標もしっかりしています。

コンポスターは一つのきっかけ。大切なのは、日常生活の中で「ごみ減量を意識すること」と金さんからのアドバイス。実践しているからこそうなずける一言でした。

コンポスターは、穴を掘った地面の上に底が空いた容器(上の写真)を設置し、土の中の微生物の働きを利用して生ごみを堆肥にする仕組みです。コンポスターを上手に活用して、家庭内でのごみ減量に役立てましょう。

※現在、モニターは募集していません。

一人1日当たりの家庭系ごみの累計排出量



一人1日当たりの減量目標まであと64グラム!

秋田市の一人1日当たりのごみ減量目標は、平成11年度の排出量から10%減らした556gです。11月末現在の排出量は620gで、目標まであと64g。日常生活の中で「生ごみの水切り」「雑がみの分別」など、今一度ごみ減量の徹底にご協力をお願いします。

【問い合わせ】

環境都市推進課 ☎(866)2943

ごみ減量情報はこちらからも

秋田市ごみ減量

検索

コンポスターの購入費用を半額補助

申請は12月28日(金)まで

市では、コンポスター購入費用の半額を補助しています。補助の上限は1基につき3千円、1世帯で2基分まで申請することができます。

今年度の申請は12月28日(金)までとなっています。ご希望のかたは、購入前に下記の窓口でお申し込みください。申請には印鑑が必要です。忘れずにお持ちください。

申請窓口

環境都市推進課、市民相談センター(市役所1階)、北部・西部・河辺・雄和の各市民サービスセンター、岩見三内・大正寺の各連絡所、各地域センター

*環境都市推進課(〒011-0904寺内蛭根三丁目24-3)へ郵送で申請することもできます。12月31日(月)の消印有効。

*申請書は下記ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/cp/namagomi/compoboshu.htm>

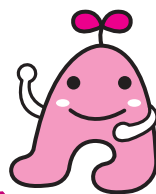
問い合わせ

環境都市推進課 ☎(866)2943



自家製の「EMほかし」を手にする金さん

ここがポイント!
コンポスター



冬場は生ごみが凍らないよう水分調整は十分に

- 冬も夏と同様に水分調整が重要です。水分が多いと生ごみが凍ってしまうことがあります。生ごみは十分に水を絞り、小さく切ってコンポスターに入れましょう
- 水分が多い場合は、乾いた土や落ち葉と一緒に調整しましょう
- 生ごみだけでは腐敗の原因になります。ごみ投入時に微生物の栄養源となる発酵促進剤(ホームセクター)などで販売)を入れて堆肥化を促進させましょう

■発酵が進んでいるとそれによって生じる熱でコンポスター周りの雪が溶けるので、確認の目安にしましょう

コンポスターに入れてはいけないもの

- コンポスターのふたが凍る場合は、発酵が進んでいないと考えられます。乾いた土や発酵促進剤を多めにに入れて、スコップなどでよくかき混ぜて発酵を促しましょう
- 堆肥に向かないもの…塩分を多く含むもの(漬物、塩辛)、腐ってしまう生ごみなど
- 分解に時間がかかるもの…たまねぎの茶色い皮など
- 堆肥にならないもの…ビニール袋、ラップ、アルミ容器、アルミ箔、たばこの吸い殻、鶏・豚・牛肉類の骨、梅干しの種や果物の固い種、新聞紙、割りばし、紙おむつなど